ロッキーのHP→www.asahi-net.or.jp/~sd5h-mksm/rockytop12.html

PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版
第100号
2006.4.7 発刊

Yeah! マネージャー No.59
死後連載ネタの秘密の巻 作 チーフ井上

小柳さんが亡くなってからも何十編もの彼を題材としたマンガを書いてきたが、やはりネタが浮かばない時もある

ロッキーHP→ www.liverocky.com

拝啓 April

今年の春は なんか寒いですね〜
一雨ごとに春が近づいてくる、なんて言いますが「冬が戻ってきてるの?」と思うほど寒かったりして…。かつて覚えぬ悪寒に苦しみながら4日の雨をにらんでいた若かりし頃を思い出しちょとセンチメンタルに。
春の雨はなんとも詩的かもしれません。

マンガのタッチの変移…こうして見るとNo.1はていねいだが幼稚なタッチだ。No.17頃がいちばん過渡期。右はかわら版でいうと66号。ほとんど今のタッチだ。

Yeah! マスター No.1
作 チーフ井上

Yeah! マスター No.17
へマスターのグチサンの巻〜 作 チーフ井上

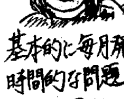
Yeah! マネージャー No.25
〜ミスター事件〜 作 チーフ井上

スタンレー丸山情報
ムーンシャイナー3枚目に写真が載り、ウキウキ気味なスタンレーの巻

普段はパンクロックバンドでギターを弾くスタンレー丸山だが、今回ロッキートップ25周年にあたってチフ井上がムーンシャイナーに書いた文面の中にニコッと爽やかな笑顔で彼の写真が掲載されている。写真の下にはスタンレー丸山の文字が。初のブルーグラス専門誌への登場ということでけっこう彼も御満悦だ。

そして先日、お客さんにもらったテンプで、そっとムーンシャイナーを買ってたことを書き加えておこう。みなも気軽に「スタンレー君」と呼んでやって下さい!

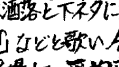
かわら版100号!にあたって…



1995年12月から始めたロッキートップのかわら版もついに100号になった。基本的に毎月発行だったのだが自分の怠慢や時間的な問題もあり、しばらく発行しない時期があったり、最近だと2カ月に1号くらいのペースになってしまうが、でも書かないと「チーフ!新しいのはまだ?」なんて言われたり「毎月これを楽しみにしてるんだよ!」という声を聞くと「やらねばなー!」とまた奮起するのです。小学校の頃マンガ家になるのが夢でしたがある意味それはプロじゃないにしても叶えられてるなーと思います。嬉しいかぎりです。これからもボチボチ今のペースは最低守って楽しい記事、マンガを書いていきたく思っています。ただ読者の声があまり聞けないのでアドバイスや提案など、なんでも言ってもらえたりすると嬉しいです。これから頑張ります!

どこへ行くブルーグラス (28)

…わたくしチフ井上がロッキートップに入り、ブルーグラスと出会ってからの数々の思い出をたどりながら、今後ブルーグラスがどこへ行くのかを考察するコーナーだ。



あいコンベンション その2…芸風的にいかにも関西というのが「王様」だ。大抵駄洒落と下ネタに走り、下品さを売りにした一発ネタでせまるタイプだ。「♪赤い靴はいてた女の子 異人さんに入れられていっちゃった♪」などと歌い会場がドン引きしたのを覚えている。本人は意にも介さない様子だったが…。

また前号で登場した平均率研究会で中沼さんの相方をやった**Tuck** は泡でもよく登場する。そこはかとなく漂うバカバカしさと知的さ、そして活きというアンバランスなムードがたまらない。最近は娘に押され気味だが…。

さてこんなブルーグラスのフトコロを知りつくした強豪ばかりの中、自分らしいつま弾き方は何なのか?それが問題だった。かつてはバンジョーの有田さんが見事なオリジナルチューンを弾いたり、本来のアメリカにおけるコンベンションのような光景もあったのだが、いつのまにかコミックソングのような状態になってしまったのも確かだ。でも自分には「笑わせたい!」という欲があるからその辺はOK。でも楽器マニアではないし、それほどのテクもないので楽器のみの芸は無理だ。そんな時降りてきたアイデアは、チフ井上とフォークグリラボーイズでやってるコレ、つまり**ブルーグラスを日本語でやる**というそのままのことだ。誰も日本語にしない曲を日本語にして、しかも**笑わせる**!これしかない、と思った。ブルーグラスを日本語にした最初は「Can't You Hear Me Calling?」だが、これは超失恋の悲しみ、苦しみを歌っている。それは日本でいうところの**演歌だ**!と思いついた。そこでこの歌を演歌風に仕上げたらどうなるだろう?というアイデアで作ったのが「**Can't You 花道**」という歌だ。詞の日本語はそのままに、ただ調をマイナーに変え、ゆったりとしたリズムでこぶしを回しまくって歌う、というネタだ。さらに十八番が必要と思い、マドリンソロもカントリージェントルメンの「Can't You〜」のジョンダッティーのソロをそっくりそのままマイナーにして弾くというマニアックな技を取り入れたところ**大受け!これぞツボ、ツボ!**このネタで2位になった。その時の会場のうれしそうなマニアックな笑い声が僕の中にあるコツというものを感じ取った瞬間だったかもしれない。さらに日本語の挑戦は続いた。それは**インストナンバーに詞をつけて歌にしてしまう**という手法だ。当時フォークグリラでやっていた唯一のインストナンバー「Kentucky Mandolin」に詞をつけたのだ…

つづく

Pick Up Live!

4/22(土) ハッピィーフィフティー(カントリー)
町内会のリダー樋口さんの弟(歯治さんのその名の通りかなりハッピーなカントリーバンド。50お過ぎて元気一杯のパワーをもらいに行こう! B.C¥1500

4/25(火) チフ井上とフォークグラボーイズ 石川真理子with山本正彦
日本語でビル・モンローの曲を熱唱、熱演好。チフ井上とフォークグリラに、シンガーソングライターの石川真理子とバンジョードクロ弾き山本正彦のコンビが共演。石川真理子はジリル・クロウ、ティーンセックスなどロカビリーロック的要素で構成あふれた日本語オリジナルを唄う美人シンガー。必見だ! B.C¥1800

4/28(金) ケイジ・ウォーカー with 玉三郎(G)&太郎(ヒダリ)
ロッキーでは初のマンドリン奏者No.1太郎がサポートでカッコイイケイジ・ウォーカー。玉三郎さんとのスリリングなからみが期待できる! B.C¥2500

5/1(日) ヒルビリーデイライツ(佐藤アトキンス・エルビスetc)
基本的にはロカビリーだがフィンガーピッキングの技を存分に楽しんでもらえるはず。しぶい、大人のロカビリーを堪能しよう! B.C¥1500

全て予約受付中です!